

学校法人明海大学

理事長 宮田 淳 殿

海外派遣報告書

作成者：ホスピタリティ・ツーリズム学部教授 神末 武彦

派遣先	University of Hawaii / Kapiolani Community College
派遣期間	2019年1月1日～2019年12月31日
派遣内容	学術交流
派遣期間中における 教育研究活動の実績	<p>・教育実績</p> <p>① 現地校にて正規生の授業（正規単位授業）を担当</p> <p><u>2019年春学期</u>（1月8日～5月7日） HOST265 Tourism Development and Management(3単位) 履修者数：32名 HOST270 Tourism Security and Safety(3単位) ×2クラス 履修者数：aクラス30名 bクラス28名 HOST280 Hospitality Management(3単位) 履修者数：26名</p> <p><u>2019年秋学期</u>（8月16日～12月20日） HOST100 Career and Customer Service Skills(3単位) ×2クラス 履修者数：aクラス23名 bクラス18名 HOST265 Tourism Development and Management(3単位) 履修者数：30名 HOST270 Tourism Security and Safety(3単位) 履修者数：32名 HOST280 Hospitality Management(3単位) 履修者数：22名</p> <p>② 現地にて非正規授業（単位なし）を担当 短期研修等の大学訪問者を対象に実施。主に日本の高校、専門学校、大学 鹿児島城西高校、中村国際ホテル専門学校等</p> <p>③ 明海大学生関係 インターンシッププログラム参加の学生に対する指導、フォロー ハワイ大学夏季研修プログラム参加学生に対する指導、フォロー</p> <p>④ 交流活動 ・業界団体との交流活動を通じて、社会貢献、研究等の促進活動 PATA, SKAL, HLTA, HTA, WBIDA, VASH 等 ・学術交流促進 ハワイ大学マノア校/School of Travel Industry Management</p>

・ 研究活動

① ハワイの観光発展について

近代史として 1970 年代から現在に至るまでの観光開発、発展についてプロセスを再度検証し、発展を続けるハワイ観光の現状について分析し、持続可能な観光の実現には何が不可欠かを考察する研究を継続的に実施

② ハワイ観光のセキュリティと安全に対するリスクマネジメントについて

上記の流れに付随して、観光で不可欠な“安全”“安心”を確実に観光客、観光従事者や地域住民に届けるにはどのようなリスクマネジメントが必要かの調査を実施。現地警察、消防、ホテルや航空会社などの各業界から情報を収集し、安全なデスティネーションとしてどう機能しているのか分析、研究を継続中である

③ アメリカの教育システムの研究

オンライン授業や Learning Outcome の徹底などさまざまな面で日本の教育システムとは似ているものの異なる部分を検証し、今後の教育活動に生かす取り組みを行っている。